

京都争議支援総行動（2月17日）

稲盛財団・京セラに要請書渡す

2月17日、「2017年春・争議支援総行動」が京都総評、JAL闘争京都支援共闘などを中心におこなわれ、「JAL闘争を支える京都の会」からも参加しました。

最初に午後0時40分より四条烏丸で昼休み宣伝がおこなわれ、四条烏丸の古今烏丸ビルに入居している稲盛財団にJAL不当解雇撤回争議団やJAL闘争京都共闘の代表者が要請書を手渡しに行きました。そのときに参加した方によれば、申し入れ代表の名刺も最初はつき返すありさまだったということですが、「稲盛和夫さんは最高責任者として責任を持て」と、要請団は文書を手渡しました。

午後3時10分から京セラ本社前で伏見地区労、国労・JAMITU・全厚生闘争団・JAL闘争を支える京都の会など約40人が参加し宣伝・申し入れ行動をおこないました。要請団は稲盛和夫・JAL名誉顧問あての要請書を持参し、総務部担当者に手渡しました。各団体からの連帯あいさつの後、最後にJAL争議団の団員の発声で、京セラ本社100mビルに向かって勝利をめざして闘う決意を込めた怒りのシュプレヒコールで締めくくりました。

午後6時から再び四条烏丸で争議支援宣伝行動をおこない、京都争議支援総行動を終結しました。

昨年、不当労働事件については勝利判決が確定し、外堀は埋まりつつあります。今年中に勝利解決の道筋をつけるべく、がんばりましょう。

